

内分泌・代謝学共同利用共同研究拠点セミナー
生活習慣病解析プロジェクト共催

「グリア細胞による痛覚伝達変調メカニズム」

Mechanism underlying pain modulation by glial cells

講師: **津田 誠** 先生 Makoto Tsuda, Ph.D.

九州大学大学院薬学研究院ライフイノベーション分野 教授

Professor, Department of Life Innovation,

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University

日時

2020年

11月25日 水 17:00-18:00

ZOOMによるオンライン開催

急性の痛みは、傷や障害の有無を生体に認識させる重要な警告信号であるが、がんや糖尿病などに伴う不必要に長引く痛みは、患者のQOL低下を招くため、治療の対象となる。しかし、この長引く痛みは、急性の痛み信号が単に持続化するためではなく、神経系に生じる構造・機能的変化による痛覚伝達系の異常に原因があると考えられるようになってきた。その変化は神経細胞だけでなく、非神経細胞のグリア細胞でも起こる。慢性疼痛モデル動物などを用いた基礎研究から、グリア細胞が長期に活性化し、それが神経細胞の機能異常を引き起こすことが示され、慢性疼痛におけるグリア細胞の重要性が示唆されている。今回は、グリア細胞から見えてきた慢性疼痛メカニズムと、それを基にした創薬への取り組み、そしてグリア細胞を介する新しい痛覚制御メカニズムを紹介し、痛覚伝達変調メカニズムの理解を深めていきたい。



1998年 星薬科大学大学院薬学研究科 博士課程修了
1999年 JST特別研究員 (国立医薬品食品衛生研究所)
2002年 トロント小児病院 博士研究員
2004年 厚生労働省 入省 (国立医薬品食品衛生研究所)
2005年 九州大学 大学院薬学研究院 助手
2006年 九州大学 大学院薬学研究院 助教授
2014年 九州大学 大学院薬学研究院 教授

担当: 生体調節研究所生体情報ゲノムリソースセンター 畑田 (8057)

Host: BiosignalGenome Resource Center, IMCR, Hatada (8057)

申し込み方法

申し込み方法所属、氏名、セミナー開催日を明記の上、下記アドレスまでメールでお申し込みください。申込者には、ZOOMミーティングURLをお知らせします(生体調節研究所の方は申込不要)。Please let us know your name, affiliation and seminar date to the email address below. We will inform you of the URL of ZOOM meeting (IMCR members do not need registration).E-mail: kk-msomu4@jimu.gunma-u.ac.jp (研究所庶務係)